

第9回有機結晶プレシンポジウム開催報告

山形大学大学院有機材料システム研究科 片桐 洋史

第32回有機結晶シンポジウム開催日の前日、2024年10月25日、第9回有機結晶プレシンポジウムが東京科学大学・大岡山キャンパスのデジタル多目的ホールにて開催されました。招待講演は3件で、参加者数は68名でした。本年度はシンポジウム実行委員長の植草秀裕先生(東京科学大学)、実行委員の関根あき子先生(東京科学大学)のご尽力のもと、若手の研究者や教員、学生を中心に多くの方にご参加いただき、興味深い講演と活発な議論が行われました。

招待講演では、杉山晴紀先生(総合科学研究機構 中性子科学センター)、植草秀裕先生(東京科学大学)、小野公輔先生(東京科学大学)よりご講演をいただきました。杉山先生のご講演では、中性子回折の原理、装置、測定手法、およびX線回折との相違点について、最先端の研究成果を交えた解説をいただきました。植草先生のご講演では、単結晶X線構造解析において著名かつ歴史あるプログラム「PLATON」について、基本的な使用法から発展的内容まで、ソフトウェアの内部構造を踏まえた解説をいただき、初心者から経験者まで有益な内容をご指南いただきました。小野先生のご講演では、共有結合性リングやケージ状分子に関する研究について、最新の研究成果とともに、研究の着想から展開に至る過程をお話しいただき、学生や若手研究者にとって示唆に富む内容でした。どのご講演も、学生から専門家まで分野の垣根を超えて理解が深まる、プレシンポジウムだからこそできる特色ある内容となりました。

プレシンポジウムの終盤では、広報委員によるポスター掲示とフリーディスカッションが開催されました。参加者間で有機結晶研究の魅力について活発な意見交換が行われ、世代を超えた研究者間の縦横のつながりの深化に加え、分野横断的な斜めのつながりが促進される有意義な機会となりました。

本プレシンポジウムの開催にあたって多大なご協力とご助言を賜りました部会役員や部会員の皆様、現地実行委員の皆様へ心よりお礼申し上げます。



コーヒーブレイクおよび広報委員によるポスター展示の様子

第9回有機結晶プレシンポジウム

概要

主催： 公益社団法人 日本化学会 有機結晶部会
共催： 公益社団法人 日本化学会 有機結晶ディビジョン
会期： 2024年10月25日(金) 13:00~17:00
会場： 東京科学大学 大岡山キャンパス デジタル多目的ホール・西9号館

プログラム

13:00~13:10 趣旨説明 片桐 洋史 (山形大学大学院有機材料システム研究科)
13:10~13:55 「中性子で見た有機結晶の構造—高強度中性子実験施設の現在と利用方法」
杉山 晴紀 先生 (総合科学研究機構 中性子科学センター 研究員)
13:55~14:40 「結晶学者のツールボックス：プログラムPLATON」
植草 秀裕 先生 (東京科学大学 理学院 教授)
14:55~15:40 「共有結合性リングやケージ状分子の設計・合成とその性質」
小野 公輔 先生 (東京科学大学 理学院 准教授)
15:40~17:00 コーヒーブレイクおよび広報委員によるポスター展示